横浜市立中田小学校　学校だより　第449号

中　田　小

平成30年4月5日

学　校　教　育　目　標

さわやか笑顔中田っ子　思い合い　ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/

「人を浴びる」

校 長　　蒲谷　猛

「地域の皆様へ～『桜』が咲きました。どうぞご自由にご覧ください。」今年も、校門にこの文字が貼られる時期となりました。およそ６０本の本校の桜は、今年は早くから咲き始め、４月１日には満開になって、恒例の同窓会主催『さくらまつり』の会場を飾りました。新年度スタートとなる今日は、美しいピンクの絨毯になって子どもたちを迎えています。

先日、あるショッピングモールにでかけた時のことです。スーパーで品物を選んでレジに行き、いつものように「ピッ」とやってもらったところで、「支払いはそちらでお願いします。」と言われました。指された方に目をやると、駐車場の精算機のようなものが目にとまりました。その機械はレジ機と連動していて、表示された金額を入れると精算され、おつりが出てきました。初めての体験でした。しばらく前に耳にした、「スマホアプリで入店タッチし、品物を棚から取る度に自動計算され、そのまま退店」という、レジなし無人スーパー試験運用のニュースと頭の中で結びつき、「どんどん便利になる一方で、人と人との接点は失われていくな」と感じた瞬間でした。

「人は人を浴びて人となる」ある教育書のなかにあった言葉ですが、人と人とのかかわりこそが教育の命だと私も思います。人は、出会った人からかけられた言葉だけでなく、その人の考え方や人柄、もっと言えば存在そのものから大きな影響を受け、そのことによって変容し高まっていくことができます。感性豊かでフレキシブルな子どもたちにとってはさらに影響は大です。子どもと子ども、子どもと教職員、子どもと保護者・ＰＴＡの皆様、子どもと地域の方々などなど、今年度の学校生活で繰り広げられる多くの温もりのある豊かな「人と人とのかかわり」を大切にしながら、本校の学校づくりのテーマ『明日も来たくなる学校』の実現に向け、日々の教育活動の充実に努めてまいります。そのためにも、私たち教職員は、「傾聴」と「共感」をベースにしながら、一人一人の子どもとしっかり向き合う存在としてかかわり続けられるよう、年度始めの今、改めて確認しているところです。保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

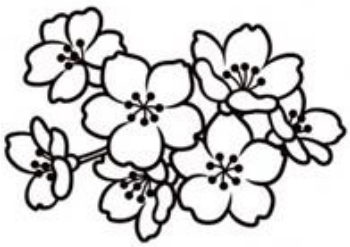
ところで、平成３２年度の新学習指導要領完全実施への準備、「子どもと向き合う時間の確保」に向けた業務改善を見据えて、今年度も引き続き、これまでの取組を見直したり、新たな試みをおこなったりしてまいります。今年度は行事のあり方等の変更も考えておりますので、年度始めの懇談会、学校説明会にてお話しさせていただきます。ご多用とは思いますが、ぜひご来校ください。

『さくらさくら』

日本古謡

さくら　さくら
野山も里も見わたす限り
かすみか雲か
朝日ににおう
さくら　さくら　花ざかり

さくら　さくら
やよいの空は見わたす限り
かすみか雲か
匂いぞ出ずる
いざや　いざや見にゆかん



※平成２６年度の校長着任時から継続して、ご家庭でお子さんといっしょに口ずさんでいただきたいという思いで、毎号曲紹介をしてきました。回を重ねて来ると「季節に合わせて」が難しくなってきましたが、今年も紹介は続けさせていただきます。